

# スタジアム需要予測等調査・整備検討支援業務

---

## 中間報告（概要）

鹿児島市

# 目次

---

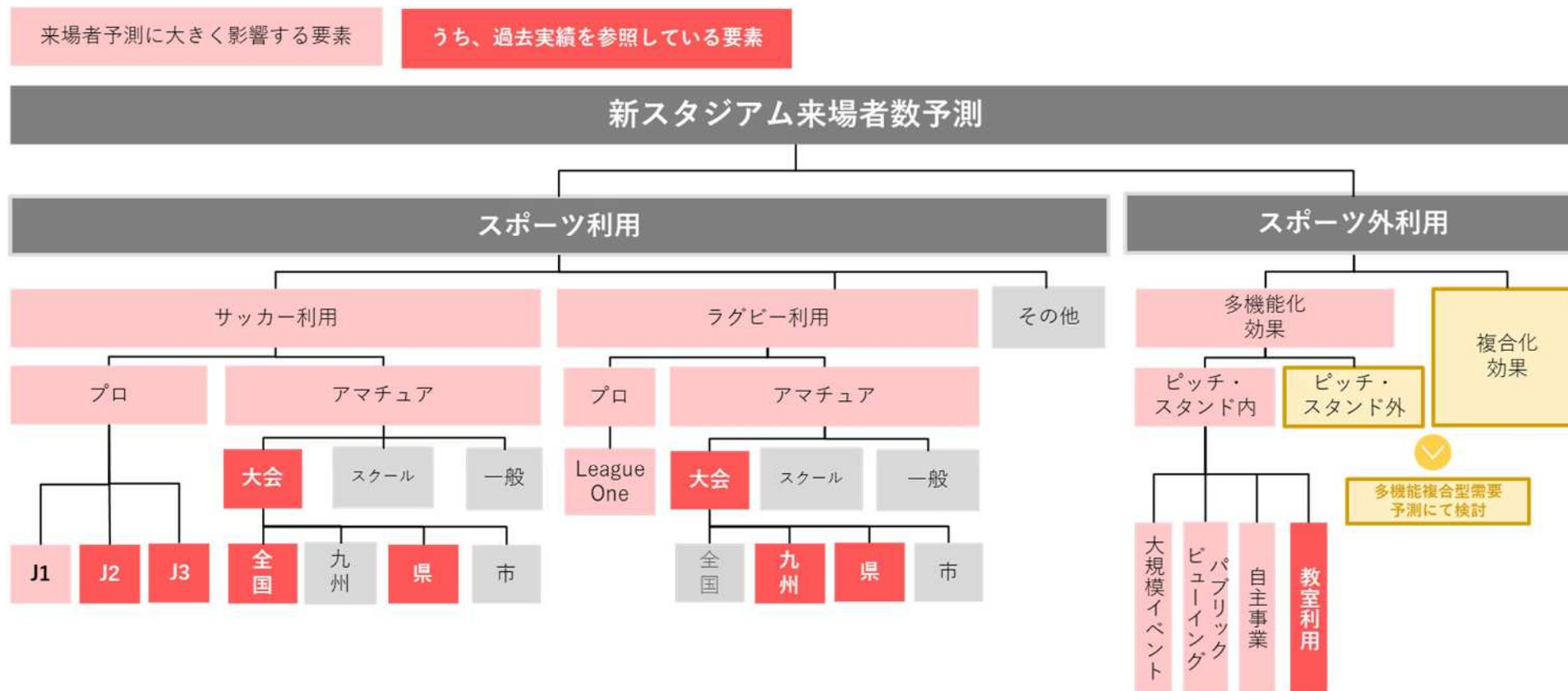
1. 来場者数予測 . . . . . P. 1
2. 多機能複合型需要予測 . . . . . P. 5
3. 年間想定来場者数 . . . . . P. 9
4. 事業費等の概算試算 . . . . . P. 10
5. 経済波及効果 . . . . . P. 12

# 1. 来場者数予測

## (1) 来場者数の予測に関する基本的な考え方（ロジックモデル）

- 新スタジアムで利用が考えられる利用形態のうち、
  - 多くの来場者数が見込まれるもの
  - 過去に白波スタジアムで開催実績があるもの
  - 利用ニーズが特に高いと考えられるものを抽出し、新スタジアムの来場者数の増減に特に影響を与える要素として優先的に調査。
- 主に過去の来場者実績から数値を導出。実績値のないカテゴリ（例：J1リーグ）については類似事例を参照し試算。

### ■ 来場者予測調査におけるロジックモデル



## (2) ピッチ・スタンド利用の来場者数試算

### ■Jリーグ利用による来場者数（試算）

**<上位予測> (J1) 249,526人/年 (1試合平均：14,678人)**  
**<中位予測> (J2) 182,238人/年 (1試合平均：8,678人)**  
**<下位予測> (J3) 107,763人/年 (1試合平均：6,339人)**  
 (※) 総数は1試合平均の小数点第1位を四捨五入したうえで試合数で乗算して算出

#### 試算の考え方

##### <上位予測>

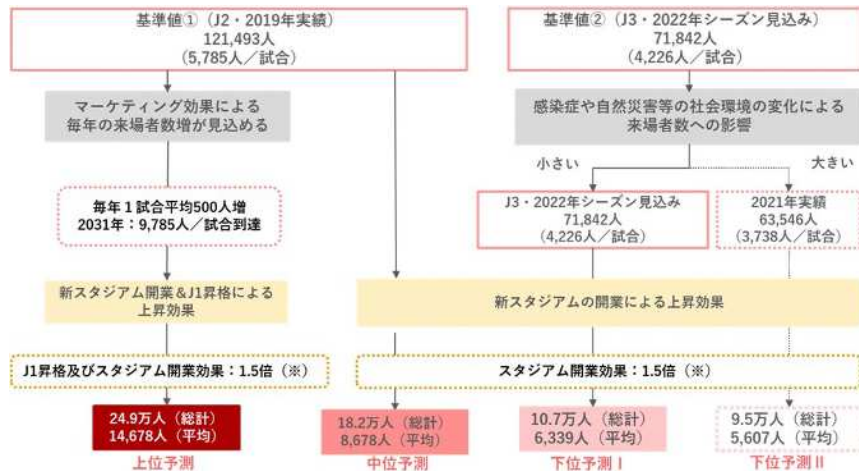
- J2に在籍していた2019年実績値(5,785人/試合)を起点に、クラブによるマーケティング戦略効果(毎年500人/試合増)が積み重ねられつつ、10年後にJ1昇格を果たしたとした場合に、J1昇格及びスタジアムの開業効果による上昇幅を**1.5倍**と想定して算出。

##### <中位予測>

- J2に在籍していた2019年実績値に、他クラブの事例を参照しスタジアム開業による上昇幅を**1.5倍**と想定して算出。

##### <下位予測>

- 新型コロナウイルス感染症の影響の残存する2022年実績見込(4,226人/試合)に、スタジアム開業による上昇幅の**1.5倍**を乗算して算出。
- 新型コロナウイルス感染症の影響をより強く受けている2021年実績を起点とした更なる下位予測も併せて算出。



(※) 上昇幅に変動の可能性あり

### ■Jリーグ以外のスポーツ利用による来場者数（試算）

**<Jリーグ以外のプロ利用> 13,000~28,000人/年**  
**<アマチュア利用(サッカー)> 14,725人/年**  
**<アマチュア利用(ラグビー)> 13,400人/年**

#### 試算の考え方

- 鹿児島県サッカー協会・ラグビーフットボール協会等の県内競技団体に新スタジアムの大会利用意向及び来場者数(アマチュアスポーツ利用では選手・関係者を含む)概算に関する見解をヒアリング。
- 芝生養生等を考慮した上で供用可能と想定される大会を抽出し、ヒアリングで得た来場者数に関する見解を概算値として積算。

##### <Jリーグ以外のプロスポーツ利用>

- 天皇杯(5,000人) / WEリーグ(2,000人) / LEAGUE ONE(3,000人) / ルヴァンカップ(上位予測時のみ、15,000人)
- Jリーグプレシーズンマッチ(3,000人)

##### <アマチュアスポーツ利用(サッカー)>

- インターハイ県予選(2,100人) / 選手権大会鹿児島県予選(3,300人)
- 全中鹿児島県予選(225人) / JFA全日本U-12選手権(4,500人) / JFA全日本U-12選手権鹿児島県予選(4,200人) / U-12南日本サッカー大会(400人)

##### <アマチュアスポーツ利用(ラグビー)>

- 花園鹿児島県予選/全中鹿児島県予選/ラグビージュニアクラブ大会/九州新人戦予選(※7年に1度持ち回り開催)(各2,200人)
- 全国7人制大会鹿児島県予選/ラグビーフェスティバル(各2,300人)

### ■スポーツ外利用による来場者数（試算）

**<大規模イベント利用> 48,000人/年**  
**<パブリックビューイング> 13,950人/年**  
**<自主事業> 720人/年**  
**<教室事業> 2,640人/年**

#### 試算の考え方

- 民間事業者や他スタジアム事例調査より、各カテゴリにおいて1回あたりの来場者数見込みを設定。
- スポーツ利用や芝生養生等を考慮し、現実的に誘致・供用可能な回数を設定して乗算。

# 1. 来場者数予測

## (3) ピッチ・スタンド利用の来場者数まとめ

上位予測		370,961人	中位予測		288,673人
Jリーグ（カップ戦は除く）利用（上位予測）		249,526人	Jリーグ（カップ戦は除く）利用（中位予測）		182,238人
Jリーグ以外のプロスポーツ利用（カップ戦を含む）		28,000人	Jリーグ以外のプロスポーツ利用		13,000人
アマチュアスポーツ利用		28,125人	アマチュアスポーツ利用		28,125人
スポーツ外利用		65,310人	スポーツ外利用		65,310人
下位予測Ⅰ		214,198人	下位予測Ⅱ		201,754人
Jリーグ（カップ戦は除く）利用（下位予測） （2022年見込を起点に試算）		107,763人	Jリーグ（カップ戦は除く）利用（下位予測） （2021年実績を起点に試算）		95,319人
Jリーグ以外のプロスポーツ利用		13,000人	Jリーグ以外のプロスポーツ利用		13,000人
アマチュアスポーツ利用		28,125人	アマチュアスポーツ利用		28,125人
スポーツ外利用		65,310人	スポーツ外利用		65,310人

### <補足説明>

- ・下位予測には、新型コロナウイルス感染症に伴う影響が異なる2時点（2022年現在・2021年実績）を用意し、後者を、感染症等の社会的影響がより大きい下位予測Ⅱとしている。
- ・上位予測には、ルヴァンカップの来場者見込み（5,000人／試合×3試合見込）を追加計上している。
- ・「スポーツ外利用」の人数は、利用調整上の芝養生期間の確保日数に応じて変動が生じる可能性がある。

※本調査では、以下の基準で年間利用調整表（次ページ参照）を検討。

\* プロ・高校生以上のスポーツ利用・大規模イベント利用については、利用後最低5日間は養生期間を設ける

\* 中学生以下の利用については、大会開催後必ずしも芝養生期間を設ける必要はない。

\* オーバーシード期間は9月末から10月半ばにかけて2～3週間程度確保する。

## (4) ピッチ・スタンド利用の稼働率試算

利用区分	日数（日）	備考
スポーツ利用（準備・撤収日含）	83	
スポーツ外利用	71	
大規模イベント（準備・撤収日含）	12	※芝養生期間は必要と想定
パブリックビューイング（PV）	9	※芝養生期間中開催可能と想定
自主事業	6	
教室利用	44	※芝養生期間中開催可能と想定
芝養生期間	157	
プロ利用等後の芝養生必要期間	140	
オーバーシード（OS）期間	17	
残り供用可能日	48	
休館日	6	
計	365	
稼働率	下記の通り	
形式稼働率（利用日／365とした場合）	42.2%	(83日+71日) / 365日
実質稼働率（利用日／全供用可能日）	76.2%	(83日+71日) / 202日

※「全供用可能日」 = 202日（365－{芝養生期間（157日）}－{休館日（6日）}）として設定

## 2. 多機能複合型需要予測

### (1) 多機能化に関する需要予測

#### ■導入が望まれる機能（多機能化）例と需要予測

・需要予測調査（関係者ヒアリング）による導入機能の絞り込み →多機能化による集客数予測試算

導入機能	評価	集客数予測
ピッチ・スタンド	◎ <ul style="list-style-type: none"> <li>サッカー、ラグビー等のプロチーム使用はもとより、アマチュアのハレの舞台としての需要が高い。</li> <li>音楽フェスや花火大会の観覧スペース等、大規模なイベント利用の需要もある。</li> <li>ピッチを傷めない形で多様な利用（屋外カンファレンスの開催等）や一般開放（市民開放デーの開催等）に対する期待もある。</li> </ul>	65,310人/年
スカイボックス (個室の観覧スペース)	◎ <ul style="list-style-type: none"> <li>市内事業者の利用ニーズはある。</li> <li>桜島・錦江湾の眺望やスタジアムの雰囲気を活かし、商談スペース等としての利用が想定される。</li> </ul>	4,800人/年
V I P ・ビジネスラウンジ (高級感のある屋内の観覧スペース)	◎ <ul style="list-style-type: none"> <li>市内事業者の利用ニーズはある。</li> <li>桜島・錦江湾の眺望やスタジアムの雰囲気を活かし、コンベンションやパーティ会場としての利用が想定される。</li> </ul>	2,200人/年
キッチン ・ケータリング	◎ <ul style="list-style-type: none"> <li>スカイボックス・ラウンジ利用の付加価値を高めるキッチン（ケータリングサービス）の需要がある。</li> <li>ケータリングで対応する場合にも、パントリーや簡易な調理スペースの設置が望ましい。</li> </ul>	-
その他会議室	○ <ul style="list-style-type: none"> <li>会議だけでなく、利用方法の自由度が高い多目的スペースの需要がある。</li> </ul>	1,200人/年
コンコース	◎ <ul style="list-style-type: none"> <li>雨天時でも利用できるオープンなランニングコースなどの需要がある。</li> <li>ピッチやコンコースを使った運動プログラムの実施等も想定される。</li> </ul>	2,640人/年
広告媒体	◎ <ul style="list-style-type: none"> <li>ネーミングライツは必須。スタジアムのサイネージをはじめ、企業協賛意向は存在する。</li> </ul>	-

※◎...必須／○...望ましい

## 2. 多機能複合型需要予測

### (2) 複合化に関する需要予測

#### ■導入が望まれる機能（複合化）例と需要予測

・需要予測調査（関係者ヒアリング）による導入機能の絞り込み →複合化による集客数予測試算

導入機能	評価	集客数予測
飲食施設	◎ <ul style="list-style-type: none"> <li>・飲食機能は特に必要な機能。</li> <li>・桜島・錦江湾の景観が目の前に望める立地が望ましい。</li> </ul>	30,000人/年
物販施設	◎ <ul style="list-style-type: none"> <li>・錦江湾エリア及び鹿児島港と海上交通で結ばれる離島エリアの特産品・伝統工芸品のアンテナショップの検討が望ましい。</li> <li>・スタジアムツアーやスポーツミュージアムと連動したグッズショップの需要がある。</li> </ul>	45,000人/年
スポーツミュージアム	◎ <ul style="list-style-type: none"> <li>・グッズショップと連動したミュージアムが望ましい。</li> <li>・特に鹿児島のスポーツの魅力を発信できるような機能が望ましい。</li> </ul>	33,000人/年
観光案内拠点	◎ <ul style="list-style-type: none"> <li>・錦江湾エリア及び鹿児島港と海上交通で結ばれる離島エリアの観光案内拠点の検討が望ましい。</li> </ul>	-
サードプレイス (居心地の良い空間)	◎ <ul style="list-style-type: none"> <li>・イベント利用やレジャー利用が可能な魅力的な公園・観光施設・オープンスペースの需要は高い。</li> <li>・スタジアムへの屋内型のガーデンスペースの設置検討が望ましい。</li> </ul>	244,550人/年
展望テラス・デッキ	◎ <ul style="list-style-type: none"> <li>・景観を活かした高い視点場への期待は高い。</li> </ul>	
フィットネス施設	○ <ul style="list-style-type: none"> <li>・一般的なフィットネス施設だけでなく、スポーツ医科学といった特徴がある機能と連携できるとよい。</li> <li>・ランニングステーションやサイクルステーションの併設・併用も想定される。</li> </ul>	20,000人/年
クリニック (スポーツ医科学)	○ <ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ医科学のラボ機能を有し、食事やフィットネス、運動プログラムと連携した健康増進機能は、今後社会的な要請が高まることを見込まれる。</li> </ul>	-
アーバンスポーツ施設/eスポーツ施設	○ <ul style="list-style-type: none"> <li>・スタジアムとの親和性は高いが、事業性の検証が必要である。</li> </ul>	7,000人/年
託児所等	○ <ul style="list-style-type: none"> <li>・ゲームデー等において、親子連れの観戦者の快適性を高める機能として設置が望ましい。</li> <li>・多様な観戦環境（座席・個室等）の整備の一環としての検討が望ましい</li> </ul>	-

※◎...必須/○...望ましい



## 2. 多機能複合型需要予測

### (3) 多機能複合型需要予測調査における団体・企業等その他意見要旨

#### ■新スタジアムにかかる期待感・要望・意見等

視点	意見要旨
スタジアムのコンセプト・整備方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>稼働率が高く、スポーツ以外の利用者（市民、観光客）を呼び込めるスタジアムを整備することが重要である。</li> <li>日常的な賑わいとゲームデー等の華やかさが両立するものができるとよい。日常的に少しウキウキ感を与える機能があるとよい。企業の健康経営との連動が鍵になると思う。スタジアムの機能、施設が全体で連動するプログラム・仕掛けができると良い。</li> <li>桜島・錦江湾の景観がウォーターフロントエリアの特徴である。観戦やイベント、コンベンションとセットでリゾート感・非日常感を味わえる仕掛けができるとよい。</li> </ul>
回遊性・まちづくりの視点	<ul style="list-style-type: none"> <li>ウォーターフロントエリア全体の活性化に向けたゾーニングやブランディングの中で必要な機能を整備する視点で検討する方がよい。スタジアムに向けて高揚感をもって歩きたくするような動線の設定や周辺のまちづくりも重要である。</li> <li>スタジアムに対してのみ投資するのではなく、電車通り沿いに賑わいを生む空間整備を行うことも重要である。周辺エリアを含めた回遊性をどう高めていくか。試合前後の消費を促すために、スタジアム周辺あるいは天文館エリアも含めた一体的な利用を含めて検討する方がよい。</li> <li>マリンスポーツについて、鹿児島市のポテンシャルを活かすべき。ベイエリアを面的に捉えて機能を繋げ、活性化していく仕掛けができれば面白い。</li> </ul>
県のスポーツ・コンベンションセンターとの連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>スポーツ・コンベンションセンターと新スタジアムが近接することで、それぞれの機能が競合し、事業が成り立たないことを懸念している。近接する別敷地で整備される場合は、2施設を繋ぐ動線上にも賑わいを誘導して一体のゾーンとして整備するなど、県の事業が先行して進められる中においても、相乗効果を図っていくことが重要である。</li> <li>スポーツ・コンベンションセンターは、アスリートファーストの視点からアマチュア利用を中心として想定した施設である。スタジアムは、プロスポーツ等の賑わいを生む施設としてポテンシャルが高い。</li> </ul>
アクセスの向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>鹿児島市は車社会なので、交通アクセスも課題である。市電の延伸についても一体的に考えるべき。</li> </ul>
3候補地の評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>「中心市街地の活性化」という目的を鑑みると、自ずとドルフィンポート跡地等か住吉町15番街区に候補地が絞られていくのではないかと。他の2候補地と比較すると、天文館からの徒歩圏内でない浜町バス車庫は事業性が低い。</li> <li>観光客目線で考えると、住吉町15番街区よりもドルフィンポート跡地等の方が中心部からの利便性が高く、観光動線の延長で回遊しやすい。天文館から近く、桜島フェリーターミナルからもアクセスしやすいことから、ドルフィンポート跡地等の方が事業性は高い。</li> </ul>

### (4) 多機能複合型需要予測調査におけるまとめ <多機能・複合化の提案>

#### 需要予測調査（企業等ヒアリング）総括

- スタジアムには、中心市街地における鹿児島経済の新たな時代の持続的な活力創出の起爆剤となることが期待されている。
- スタジアムは、スポーツ以外の利用者（市民・観光客）を呼び込むことで、日常的な賑わいとゲームデーの華やかさが両立するものとするのが重要である。このため、スタジアムの検討にあたっては、まず**スタジアムの稼働・集客を高めることに注力**する必要がある。
- スタジアムは、回遊性の高いまちづくりを進めるうえで非常に重要な施設となる。試合前後の消費を促すためにも、鹿児島中央駅から天文館、さらに鹿児島駅周辺のエリアまでの一体的な利用を念頭に検討する必要がある。

#### ①「稼げる」スタジアム

- ・スタジアムの多様な利用により、スタジアム自体が運営費・維持管理費を稼ぎ出せる収益構造の実現
- ・中心市街地を回遊し、又は県内各地に送客される来場者（市県民・観光客等）の消費行動による経済波及効果の創出

多機能複合型のスタジアムに望まれる  
基本的な考え方

「稼げる」スタジアムを  
「活かす」

#### ②スタジアムを「活かす」

- ・プロスポーツチーム等のモチベーションの向上などによるスポーツ振興
- ・地域資源としてのプロスポーツチームの活用推進
- ・スタジアムを核としたベイエリアでの多彩な活動シーン

#### ▼スタジアムの多機能化で望まれる機能

基本的な  
考え方

スタジアムの収入・資金調達機会・広告媒体としての導入機能を整理

期待される  
導入機能

ピッチ・スタンド・コンコース（多目的利用）、スカイボックス、VIP・ビジネスラウンジ、キッチン（ケータリング）  
広告媒体、その他会議室等

#### ▼スタジアムの複合化で望まれる機能

基本的な  
考え方

自然景観や鹿児島の食をはじめとする鹿児島らしさや立地の特性（ポテンシャル）を最大限に活かしながら、集客力と事業性が期待できる導入機能を整理

期待される  
導入機能

##### ①観光交流拠点機能

観光案内拠点／ミュージアム／物販／サードプレイス

- ・離島など県全体の魅力発信拠点（県全体の情報発信／県内各自治体や観光協会等との連携）
- ・試合観戦やイベント等での来場者を観光客として県内各地の観光地に送客する観光案内拠点
- ・歩いて楽しめるまちづくりの拠点
- ・鹿児島のスポーツレガシー／レジェンドに触れられるミュージアム

##### ②食文化発信機能

飲食／観光案内拠点／物販

- ・鹿児島の食材・食文化に触れることができるカフェレストラン（ケータリング対応）
- ・中心市街地の飲食店をはじめ、県内各地の飲食店に関する情報の発信
- ・鹿児島の食材を活かした特産品・伝統工芸品の販売

##### ③スポーツラボ・ステーション機能

フィットネス／クリニック／eスポーツ・アーバンスポーツ

- ・スポーツ科学研究（大学連携サテライト）
- ・スポーツメディカル、スポーツリハビリ
- ・スポーツトレーニング指導、指導者育成
- ・健康食・アスリート食について学べるキッチンスタジオ
- ・eスポーツ・アーバンスポーツ施設

### 3. 年間想定来場者数

ピッチ・スタンド利用および多機能複合化利用を合わせた年間想定来場者数は以下のとおり。

想定来場者数		679,063人
ピッチ・スタンド利用		288,673人
Jリーグ（カップ戦は除く）利用（中位予測）		182,238人
Jリーグ以外のプロスポーツ利用		13,000人
アマチュアスポーツ利用		28,125人
スポーツ外利用		65,310人
多機能・複合化利用		390,390人
多機能利用（ピッチ・スタンド利用以外）		10,840人
複合化利用（サードプレイス、展望デッキ・テラス）		244,550人
複合化利用（上記以外の複合施設）		135,000人

## 4. 事業費等の概算試算

### (1) 概算工事費

	浜町バス車庫	ドルフィンポート跡地等	住吉町15番街区	備考
<b>スタジアム規模</b>				
床面積 (㎡)	34,100	33,600	28,100	
スタジアム本体	30,500	30,000	27,100	
複合施設 (㎡)	3,600	3,600	1,000	
収容人員 (人)	16,300	16,300	16,300	
敷地面積 (㎡)	49,000	34,800	36,050	住吉町15番街区は拡張後の敷地面積
<b>施設整備費 (百万円・税込)</b>				
<b>スタジアム工事</b>	<b>14,787</b>	<b>14,237</b>	<b>12,888</b>	複合化施設含む
スタジアム本体	13,124	12,574	12,426	屋外デッキ、外構含む
複合化施設	1,663	1,663	462	
<b>付帯施設工事 (計画敷地外)</b>	<b>1,513</b>	<b>259</b>	<b>715</b>	
ペDESTリアンデッキ	1,513	259	715	デッキ、歩道橋、E V等含む
<b>その他 (参考整備費)</b>	<b>4,577</b>	<b>2,404</b>	<b>6,600</b>	
土地購入費 注1)	4,379	(6,699)	(4,759)	
既存施設撤去費 注2)	198			
敷地拡張費 注3)			6,600	
緑地移設 注4)		754		
臨港道路付替え 注5)		1,650		
<b>合計</b>	<b>20,877</b>	<b>16,900</b>	<b>20,203</b>	
注記	<p>注1) 相続税路線価より実勢価格を推定 (住吉町15番街区は拡張部 (海洋部) も含め同様に推定)。          県有地2箇所の取扱いについては、今後県と協議を行う。</p> <p>注2) 浜町バス車庫の既存施設撤去は約6,000㎡程度とし、既存施設の移転費は含まない。</p> <p>注3) 住吉町15番街区の敷地拡張 (約9,100㎡) は栈橋構造 (海上施工鋼管杭) で想定。既存敷地の嵩上げ (約1m) 含む。</p> <p>注4) ウォーターフロントパーク内緑地の移設は26,000㎡程度を想定 (移転先は未定)。</p> <p>注5) ウォーターフロントパークの臨港道路の付替え費は類似事例による単価に基づく参考額。</p>			

## 4. 事業費等の概算試算

### (2) 維持管理・運営収支の試算

(税抜)

		浜町バス車庫	ドルフィンポート跡地等	住吉町15番街区
収入	スタジアム使用料等	78,837 千円/年	同左	同左
	スタジアム常設広告	30,000 千円/年	同左	同左
	ネーミングライツ	13,637 千円/年	同左	同左
	複合施設賃料	54,020 千円/年	59,690 千円/年	16,581 千円/年
計		176,494 千円/年	182,164 千円/年	139,055 千円/年
支出	維持管理・運営費(スタジアム)	155,502 千円/年	同左	同左
	維持管理・運営費(複合施設)	20,000 千円/年	同左	5,556 千円/年
計		175,502 千円/年	同左	161,058 千円/年
収支		992 千円/年	6,662 千円/年	-22,003 千円/年

#### ※「稼げる」スタジアムの取組事例

##### ① Jリーグの試合開催日におけるスカイボックスの使用について

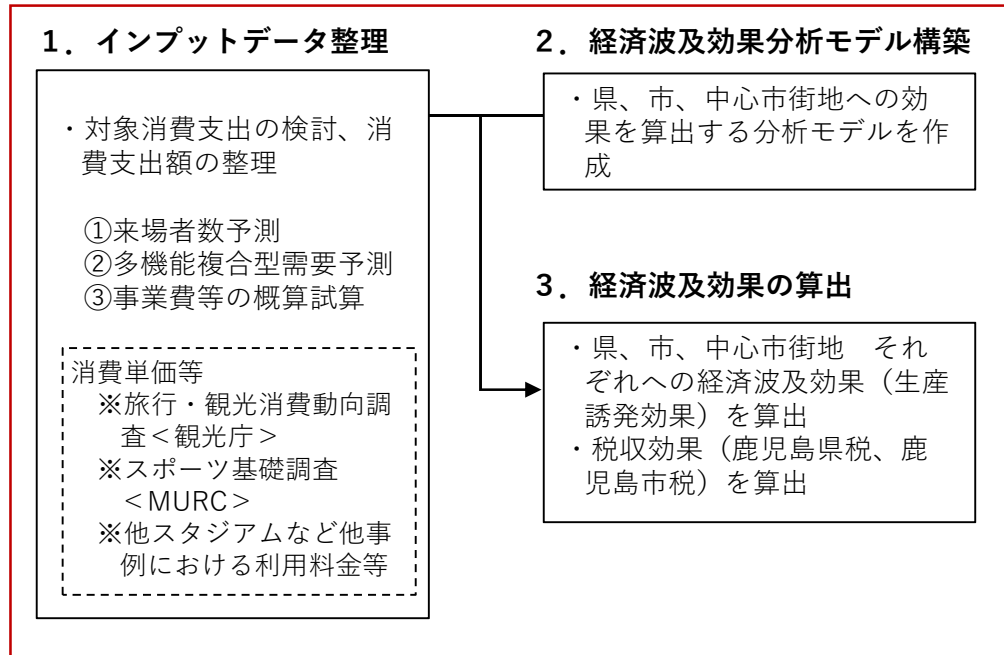
国内でも、ホームチームが、試合開催日におけるスカイボックスの年間使用権(年20日程度)を、スポンサー企業等に数百万～1000万円程度で販売する事例あり。スタジアムの収益への影響はケースバイケースだが、消費に伴う地域経済への波及効果が期待できる。

##### ② Jリーグの試合開催日以外のスカイボックスの使用について

欧米では、試合開催が無い日も含めたスカイボックスの年間使用権を数千万円の価格帯で販売し、それでも販売が順番待ちになるスタジアムもある等、スカイボックスの使用権を所有することに価値が見出されている。国内においては、試合開催が無い日も含めた年間使用権を販売している事例は把握できなかったが、錦江湾・桜島の景観やスタジアムの雰囲気を活かしたマーケティングにより、試合が開催されない日における会議等での活用も想定した年間使用権の契約を結ぶことによる、収益の上積みも期待される。

(1) 推計の考え方

■推計フロー



■対象とする消費支出（インプットデータ）

発生時期	消費支出内容	支出額(需要額) 単位：百万円（税込）		
		浜町バス車庫 本体30,500㎡ 複合施設3,600㎡	ドルフィン ポート跡地等 本体30,000㎡ 複合施設3,600㎡	住吉町 15番街区 本体27,100㎡ 複合施設1,000㎡
スタジアム 整備期間 ※期間中の み	スタジアム本体工事	13,124	12,574	12,426
	複合施設工事	1,663	1,663	462
	スタジアム付帯施設工事	1,513	259	715
	土地購入費	対象外		
	既存施設撤去費	198		
	敷地拡張費（海洋部）			6,600
	緑地移設		754	
	臨港道路付替え		1,650	
	計	16,498	16,900	20,203
	スタジアム 開業後 ※単年 あたり	スポーツ観戦等（中位予測）	3,550	
多機能（スポーツ以外）		490		
複合施設		179	154	
計 スポーツ観戦等（中位予測） の場合		4,220		4,194
施設運営費		193		177
その他（常設広告収入、ネーミングライツ）		48		
計 スポーツ観戦等（中位予測） の場合	4,461		4,420	

注) 小数点以下の四捨五入の関係で、計の数値に一致しない場合がある。

- ・経済波及効果分析において土地購入費は所有権の移転として取り扱われ、経済波及効果の算出対象外とすることが多い。本分析においても、「浜町バス車庫」の土地購入費は対象外とする。
- ・「住吉町15番街区」は海洋部の敷地拡張費が高額となるため、スタジアムの想定床面積は3候補地の中で最も小さい想定であるが、整備費の合計は最も高額となる。
- ・「住吉町15番街区」における【複合施設】の支出額は、アーバンスポーツとフィットネスの支出額が無いと仮定するため、「浜町バス車庫」および「ドルフィンポート跡地等」と比較して支出額は小さくなる。

## 5. 経済波及効果

### (2) 推計結果

#### ■ 経済波及効果まとめ

生産誘発額						
発生時期	消費支出内容		単位：百万円 経済波及効果<生産誘発額>			
			支出額 (需要額)	鹿児島県	うち 鹿児島市	うち 中心市街地
スタジアム 整備期間 ※期間中 のみ	整備費 (建設費)	(1) 浜町バス車庫	16,498	24,345	18,935	1,910
		(2) ドルフィンポート跡地等	16,900	24,939	19,396	1,957
		(3) 住吉町15番街区	20,203	29,812	23,187	2,339
スタジアム 開業後 ※単年 あたり	来場者 による消費	スポーツ観戦等(中位予測)	3,550	5,349	3,837	1,069
		多機能(スポーツ以外)	490	734	538	155
		複合施設 (1)・(2)の場合	179	274	194	55
		複合施設 (3)の場合	154	237	165	46
		計 スポーツ観戦等(中位予測)、(1)・(2)の場合	4,220	6,357	4,568	1,279
		計 スポーツ観戦等(中位予測)、(3)の場合	4,194	6,320	4,540	1,270
	施設 運営費	(1)・(2)の場合	193	285	222	22
		(3)の場合	177	261	203	21
	その他(常設広告収入、ネーミングライツ)		48	70	55	12
	計 スポーツ観戦等(中位予測)、(1)・(2)の場合		4,461	6,713	4,844	1,314
計 スポーツ観戦等(中位予測)、(3)の場合		4,420	6,652	4,798	1,303	

(試算値) 候補地別中心市街地への経済波及効果	
開業後 来場者による消費 (単位：百万円)	経済波及効果<生産誘発額> スポーツ観戦等(中位予測)
(1) 浜町バス車庫	513
(2) ドルフィンポート跡地等	1,069
(3) 住吉町15番街区	1,144

税収効果				
発生時期	消費支出項目		税収効果(百万円)	
			鹿児島県税	鹿児島市税
整備期間 ※期間中 のみ	整備費 (建設費)	(1) 浜町バス車庫	325	168
		(2) ドルフィンポート跡地等	333	172
		(3) 住吉町15番街区	398	206
開業後 ※単年 あたり	来場者による消費	スポーツ観戦等(中位予測)の場合	75	108
		多機能(スポーツ以外)	10	15
		複合施設(1)・(2)の場合	3.8	5.2
	施設 運営費	複合施設(3)の場合	3.2	4.3
		(1)・(2)の場合	3.8	2.0
	(3)の場合	3.5	1.8	
	その他(常設広告収入、ネーミングライツ)		1.3	1.7
計	スポーツ観戦等(中位予測)、(1)・(2)の場合	95	132	
	スポーツ観戦等(中位予測)、(3)の場合	94	131	

注) 小数点以下の四捨五入の関係で、計の数値に一致しない場合がある。